

議事録

会議名	第1回垂井町庁舎跡地等活用のあり方検討委員会
日時	令和元年7月10日（木）16時00分～18時00分
場所	垂井町中央公民館 2階 2-1・2-2会議室
出席者	<p>【委員】 竹内委員、鶴田委員、長谷川委員、木下委員、桑原委員、 沢島委員、片岡委員</p> <p>【事務局】 総務課長 高橋、管財係長 小森、平墳主査、西脇主査、西村主任</p> <p>【コンサルタント】 玉野総合コンサルタント株式会社</p>
欠席委員	なし
傍聴人	2名
内容	<p>1 委員委嘱</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 委員長、副委員長選任について（資料1・2）</p> <p>4 委員会への依頼事項について（資料3）</p> <p>5 委員会での検討事項について</p> <p style="padding-left: 20px;">○垂井町の現状・課題について（資料4）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・背景・目的 ・検討経緯 ・地域特性の整理 ・上位関連計画等の整理 ・庁舎跡地等の現状 ・現状と課題の整理 <p style="padding-left: 20px;">○スケジュールについて（資料5）</p> <p>6 その他</p> <p style="padding-left: 20px;">次回の予定</p>

事務局	～開会にあたって(委員長選任及び議事進行をお願いするまでの間、議事進行)～
副町長	<p>～各委員に委嘱状を手渡し挨拶～</p> <p>皆さん、こんにちは。今日は大変お忙しいところお集まりいただきまして本当にありがとうございます。本来でしたら町長が参りましてご挨拶を申し上げるところですけれども、公務のため、どうしても来ることができませんので、代わりまして私のほうからご挨拶を</p>

	<p>させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。まずもって、私、副町長の片岡でございますが、実は6月11日に就任したばかりで、まだ1カ月もたっておりません。まだなりたてのほやほやでございます。今日の会議につきましても、一応レクは受けておるのですが、まだ理解していない部分もあるかと思っておりますので、頓珍漢な発言があるかもしれません。その点をご容赦いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。さて、庁舎でございますが、新しい庁舎につきましては、皆さんご存じのとおり、垂井町文化会館の南側で、元商業施設を用途替えるコンバージョン方式で今建設しているところでございますが、一応7月、今月いっぱい完成する予定でございます。その後、9月半ばごろ引っ越しという予定は今立てているのですが、いよいよ引っ越しも目の前に迫ってまいりまして、引っ越しますと現庁舎には明かりがつかない、消えてしまうという状況になってくるわけです。そこで垂井町といたしましては、現庁舎跡地とこの建物、中央公民館と隣接するこのような公共施設につきまして有効利用をと考えております。そしてまた併せまして、中山道垂井宿も含めまして垂井地区の活性化を図るための検討を進めてきているつもりでございます。そこで、昨年度は基本構想を策定いたしまして基本プランを示したところでございますが、今年度は基本構想を踏まえまして、基本プランを具現化してまいりまして、垂井地区の新たな賑わいを創出するための基本計画を策定したいと思っております。この基本計画の策定につきましては、今年度いっばいを考えておるわけですが、策定に当たりましては当検討委員会の開催をはじめ、ワークショップの開催、またパブリックコメントを経まして計画をとりまとめていただくことになると思いますので、よろしくお願いいたします。大変忙しい中ではあると思いますが、皆様方それぞれの立場で忌憚のないご意見、また提案等を出していただきまして、協議、またご検討いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。ご協力をお願いを申し上げまして、簡単ではございますが、挨拶の言葉とさせていただきます。どうぞ最後までよろしくお願いいたします。</p>
事務局	～本日初めての委員会なので、各委員の自己紹介をお願いします～
各委員	自己紹介（略）
事務局	自己紹介（略） それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。次第3、委

	員長、副委員長の選任に移らせていただきます。お手元に資料2を配布してございます。垂井町庁舎跡地等活用あり方検討委員会設置要綱第5条に「委員会に委員長及び副委員長を置き、委員のうちから互選する。」と規定されております。委員の皆様の互選をいただきまして決めていきたいと思いますが、どのようにお諮りさせていただければよろしいでしょうか。
委員	事務局に案がありますか。
事務局	今、事務局に案がございますかというご発言がございましたが、事務局といたしましては、昨年お世話になりました岐阜協立大学の学長でいらっしゃる竹内先生に委員長をお願いしたいと思えます。また副委員長には木下様をお願いしたいと考えております。ご賛同いただけましたら拍手をお願いしたいと思えます。
委員	(拍手)
事務局	ありがとうございます。それでは、皆さん賛成ということでございましたので、委員長には竹内先生、また副委員長には木下様ということでお願いしたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。それでは、委員長、副委員長、前の席へお願いします。 (委員長、副委員長：席移動)
事務局	それでは、ただいま委員長に竹内先生、副委員長に木下様になりましたが、また委員長として、副委員長としてご挨拶をそれぞれお願いしたいと思えます。
委員長	あいさつ(略)
副委員長	あいさつ(略)
事務局	ありがとうございました。改めまして皆様、どうぞよろしく願いいたします。続きまして、第4、委員会への依頼事項に移らせていただきます。町長からの依頼事項でございますが、本日副町長から委員長に手渡しをお願いしたいと思えます。
副町長	～町長より「垂井町現庁舎敷地等の今後の活用のあり方について」依頼事項を読み上げ、委員長へ手渡す～
事務局	どうもありがとうございました。それでは、これより議事に移ります。これから先の進行につきましては委員長をお願いしたいと存じます。竹内先生、どうぞよろしく願いいたします。
委員長	それでは、議事に入らせていただきます。ただいま諮問というか、依頼というのを受け取ったのですが、私、ずいぶんこういうのを受け取る役を仰せつかりますが、これだけ長文のものは珍しく、なかなか力が入っているなど感じているところでございます。それに応

	えられるように頑張っていきたいと思います。それでは、議事ですが、5番目、委員会での検討事項についてということで、事務局から資料をまとめていただいていますので、ご説明をよろしく願いいたします。
コンサル	資料に基づき説明（略）
委員長	それでは、ただいま資料に沿ってご説明いただきました。検討の課題、現状と課題ということですが、ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。僕からいくつか。それまでの説明というのはある程度技術的な説明なのでそういうことかなということなのですが、39ページからは課題の整理という形で、これは実は内容に踏み込んで提案的な部分が結構あると思います。それが昨年の会議の流れとちよっとどうなのかな、違うコンセプトがだいぶ入っているなというふうに思います。3つありまして、リノベーションという部分が強くなっている。それから地域というのはどこの部分か。あと地域についてももう1つお伺いしたいことがあります。まずリノベーションという部分がものすごく強く感じするのですが、(2)のところでも提案いただいていますし、(4)のところでもリノベーションという形で提案されています。実は今、大きなリノベーション事業に関わっておりまして、リノベーションのほうが、お金がかかるのではないかというのが正直な感想です。経費が抑えられるというような書きっぷりですが、あの旧庁舎の状況を考えて何か作ろうとしたときに、平地にして何か作ったほうが安価なような気がします。そういったところをどうお考えなのですかというのがまず1つ目の質問です。
コンサル	リノベーションにつきましては、費用については我々も検討します。費用につきましても機能にふさわしい施設かどうかも含めて、今の施設を使う場合と新しく建物を作る場合とで比較をさせていただきます。その結果としてコストの面でリノベーションのほうが比較的割高になる可能性もあります。ただ、それは結果としてはそうなるかもしれませんが、これからどんどん空き地、空き家が増えていくということが想定される中で、プロセスとして今ある建物を使えるだろうかという検討はこれから必要なのではないかとということで提案させていただいております。庁舎についてはですね。
委員長	昨年度の委員会では、垂井地区の方もお見えの中で、残してくれという声があるのかなとかたちで臨んだのですが、全然なかったという印象だったので、それを一応お伝えしておきます。それから、

	<p>資料4の41ページ(3)地域に必要とされている機能の明確化のところで、滋賀県の例も挙がっていて、これは昨年から挙がっているのですが、そこで地域というのをどう考えるかというところで、垂井地区の地区公民館の建て替えではないという部分があって、垂井町全体に対する役割、機能、シンボル性という部分と垂井地区というところ、これは正直決めきれていない。昨年度についてはフェジーに残しているところですね。今日の(3)のところはどちらかというところに入り込んでいるかなという印象で受け止めました。それについてお考えはどうでしょうか。</p>
コンサル	<p>言われたように町として必要な機能もあるでしょうし、地域として必要な機能も出てくると思います。町として必要な機能を例えば地域で運営するというのはやはり違うと思います。ただ、この地域で必要な機能についてはなるべく地域の皆さんが運営に関わっていくことがこれから持続的にその機能が続いていくことにつながるだろうという考え方を今回入れさせていただいたということです。</p>
委員長	<p>委員さんが昨年度のとき例を出されたのですが、必ずしもそれは建物とか、建物が持っている機能ということで、運営に関してこれをメインに出されたのではないという認識でいたのですが、どうでしょうか。</p>
委員	<p>自分が出した案なのですが、どうだったか。委員長が言われるように、こういうような建物がイメージとして合うんじゃないですかというような意味で出したような記憶ですので、そうなのだろうと思います。</p>
委員長	<p>ここで特に下のところで踏み込んで書かれているのが、予算的にも自治会の予算を使って、運営についてもある程度地元主体の運営みたいなところがあるのですが、どちらかというところと垂井町全体としての祭りという部分だとか、そういうところも強く意識されているところなので、そうするとこのストーリーとはちょっと違うという部分もあるのかなと。もちろんお祭りもどちらかというところと地元中心とは思いますが、皆さんにとってもっと開かれた祭りというところなのかなと。今の2点のところ、リノベーションなのかというところと、それから地域をどう考えるのかという部分の考え方が去年1年やっていた身からすると、今日のご説明はちょっと感覚が違和感を受けたというところで、またそこはすり合わせていかなければいけないかなと思います。あともう1つ、垂井地区とか垂井についてたくさん資料を拝見しながら思ったのですが、この場所の価値</p>

	<p>をどこで見ていくかというのは、僕は垂井駅だと思うんです。垂井駅というものを、名古屋から来られているということなので、どのようにお感じになりますかというところは知りたいところで、今調べるとすごく微妙なんです。岐阜県内で17番目くらいの乗降客数で、その前が新可児駅だったので、そんなに少ないわけでもない。結構ある。数がいくつだったか、5000とか、それくらいの数だと思うのですが、高山では3500なので、高山よりもあるという感じで、意外とある。だから駅としての中心性はひょっとしたらあるけれど、観光客云々という話としてはあまり、観光協会の方もおみえですけれども、なかなかという評価だったんですね。どうお考えかなというところですけども。</p>
<p>コンサル</p>	<p>垂井駅との関係は私もまだ知らないところがありますけれども、私も今回垂井、中山道のあたりを歩かせてもらって、宿場町であった名残というのは確かに残っていて、町を歩く楽しみみたいなものも少なからずあるとは思いますが。交通のアクセスと言えは確かに十分ではないかもしれませんが、今そういったところで、例えば隣の愛知県の同じ宿場町の足助町などでも町宿というコンセプトで今年度たしか町宿スクールみたいなものを開催して、地域にある空き家を使って何か事業をやりたい人たちを集めてプランを考えることをやるのですが、そういった人たちがどこか全国にいると仮定したときに、垂井町でも資源である空き家を使いたい人にうまく使わせてあげて、新しいコンテンツがまちなかに増えていけば、町の魅力としては少しずつ増えていくのだらうと。少しずつ増やしながらこの地域の価値を高めていくというのが最近のリノベーションまちづくりの考え方なのかなと思っています。まずはそういうところから始めないと、これから人口が減っていく、空き家が増えていくといった状況下で昔みたいに人口が増えている時代のまちづくりとは違うやり方でアプローチしていかないと難しいのかなというのは実感しています。</p>
<p>委員長</p>	<p>それも昨年度の会議の中でのあれとしては、道が非常にわかりにくい。それこそ鶴田先生も今日迷われて、僕は相当岐阜県の中は走り慣れています、ここに来るのにあえて大きな道で来ます。途中のところで、ここで曲がってこう行くと川のところに出てこう行けるなど大体わかるのですが、それをしなないです。あえて21号に出て回り込んで入ってくるということで、それは走り慣れている僕にしてもここの中を走るのは面倒だという意識になるぐらいのところな</p>

	<p>んです。だから、道路としては脆弱という感じですが、防災上の問題があるというのが昨年の会議やワークショップの中でずっと言われていたところで、これでいいのだろうかという声のほうが大きかったところではあります。岐阜のほうがモータリゼーションが激しくて、愛知県は自動車王国だと思いますが、愛知よりも移動手段としても圧倒的に車となっている中で、垂井町の中心は21号沿いに今度庁舎が移ることの中で移ってくるというのは明らかなのだろうところだと思います。そういうところを踏まえていかないとという観点で、岐阜県での集客性というか、交流性というか、関係人口という意味で、自動車での利便性がないところというのはなかなか厳しいですよというのは一般的に考えられるところだろうと思います。地域感覚的なところも、昨年頻繁にこの地域の道がかなり狭くて入り組んでいるということも指摘されているところではあります。むしろ鉄道からすごく近い。さっき見たら駅から350mだったので、相当近いなということなので、垂井駅がそれなりの乗降客数があるところであれば、垂井駅とのつながりの中での位置づけのほうはむしろ自然ではないかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今言われたように、前回のときには特にワークショップで出た垂井地区でない人たちが主にこの役場に来るのにわかりにくいという意見であったのですが、私はここに住んできて、観光資源として考えている人間としては、車が来にくい、わかりにくいというのは逆の魅力になり得ると思っているので、観光資源としてそんなに困ったものだなというふうには思わないです。それはそれでうまく魅力を作ればいいのであって、駅に近い、駅から歩いて5分から10分ぐらいで、ここまでは5分で着くと思いますし、中山道垂井宿の一番遠いところでも15分ぐらいだと思いますので、そういう意味では駅を利用してもらえればいい。ただ、周辺に車を止めるところがもう少し増えれば、観光地としての魅力はもう少しいろいろ作らなければいけないので駄目ですけど、観光地としての魅力を作り上げれば、利便性がないところというのは意外と人気が出るような気がしています。</p>
<p>委員長</p>	<p>そういう前提で駐車スペースを取ってという話もありました。ここではなくて、ここも役場もほぼ一緒ですけども、役場のところは21号から比較的に入っていきやすく、わかりやすいので、ある程度駐車スペースがあれば、あそこまでであれば誰でも来られるだろう。そこから徒歩で動いてもらえばいい、そういう声が多かったのかな</p>

	<p>と。それはまさに駐車場の跡地利用としてはそういうところかなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>ここに書いてある資料5の第1回庁内検討委員会というのは役場、議員さんを中心とした考え方をもって、跡地活用について、ここでどれぐらいの事業とどれぐらいの予算をあるかということ、8月の終わりごろには検討されるのだと思うのですが、このところでどれぐらいの予算を町が見て、跡地の利用をされるか。予算化をかなりされると思うので、そこに県や国の補助金をどのように入れていくのかというのが問題になるのではないかと思います。その辺のことはある程度考えてみえると思うのですが、どのように検討されていくかということと、それから、今話がありました国道沿いに今度役場が行くということで、垂井駅に来られる人は言われるけれど、どこに庁舎があつて、どこに町があるんだという、そういう明確さをはっきりしていないんです。ただ、駅は大体東海道線沿いにあるということはわかるけれど、どこにメインがあるかということがわからないので、今後の問題ですが、もっと明確にして垂井町の庁舎はここですよ、こういうのがあるというのをもっと明確にしていけば、垂井町というのは多分みんながわかるのではないかな。よそに言っても、垂井町というのは8割方は、大阪や東京に行っても何も理解してもらえない。関ヶ原と言うときようかなと言われるだけで、垂井町というのは全然理解ができない。僕は前から言っているが、関ヶ原と垂井と赤坂を中山道の通りとして1つの行事でもやってくれば、垂井町が一番駅に近く、人口から広場から言っても魅力ある町ではないかなと思っています。祭りは確かに人が集まってくるけれども、祭り以外に誰が来ますかというような、本当に観光となったら何があるか。中山道があつたのかという、そういうイメージが強い。例えば長野県の長瀬川では、本当にいろいろな行事で、いろいろな人を集めるよさがあるが、関ヶ原もどうだろうか。関ヶ原1本では、何で垂井がそこについていかなければならないというのが僕の七不思議の1つではないかなと思っています。その辺も考えながら跡地というものを、例えば駐車場にするのか、もっと行事ごとを増やすのか。これは個人的な意見ですが、今の広場を半分だけ、垂井町は金がなかったら不動産屋に売ってマンションを建ててもらって、半分だけでもいいから、そうすると垂井町に予算があつて活性化するのはではないか。例えば平屋でいいです、立派なものを建てなくてもいいので、みんなが集まるようなものを作ったほうがいいのでは</p>

	<p>ないか。これは個人的な意見です。僕は何も学識なことはわからないのですが、そういう方法も、この前のときもそういう意見も出ていましたが、そこまでは明記されていないので、そういう方法もあるのではないかと僕は思っています。以上です。</p>
委員長	<p>昨年のご意見の大きな流れはそういうことだったと思います。この前段のところの部分については何か町のほうでは。</p>
委員	<p>検討委員会の件につきましては今立ち上げるところです。今週その話をしているところで、課長級の関連ある職員でそういう会議を作って、その中で揉んでいく。最初にやらなくてはいけないのは、ここに書いてある用途関係、どういうものが必要なのかとか、ゾーニングみたいなものからやっていく必要があるだろうと思います。予算ですが、今総務課のほうとも話をしているのですが、財政シミュレーションだとか、そういうものをやりながら、これから何年か、1年、2年の話ではありませので、そういうものをかけて、その中に整備するのにどのように配置していくかとか、そういうものはこれからやっていくということでございます。この検討会は議員さんとかそういうわけではございません。</p>
委員	<p>そのときの予算は、県や国からの予算ということか、いわゆる垂井町の予算の中でやっていこうというような原案があるわけですか。</p>
委員	<p>まだその財源までは踏み込まなくて、この時点ではどれぐらいかかるかというあたりまでです。</p>
委員	<p>早い話が、本当に第1回の白紙の状態で立ち上げていこうということですね。どういう形のものかという。</p>
副委員長	<p>いいですか。8月予算ですよ。ある程度基本計画が見えてこなければどれぐらいかかるとかわからないから、この予算というのは何の予算なんですか。建設費ではないですよ。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおりで、実は機能を先に、例えばここに何を集約するかというのを先に検討してしまうと、逆に何もかも入れだすと予算的にも当然膨らんでいくという可能性もあるんですね。先ほど副町長から申し上げたとおり、町の財政として、これからいろいろな事業がありますけれど、その中でこの跡地にどのぐらい予算をかけられるのかということについてはしっかりと町のほうで検討する必要があるだろうと考えています。その検討に当たっては、今の庁内の検討委員会を使っていくということになります。そこで決めさせていただいて、ある程度方向性をあり方検討委員会に示させていただいて、その中で何ができるのかということを含めて検討していき</p>

	<p>たいと思っております。予算、財源につきましては、予算規模がある程度方向性が決まりましたら、例えば行政として先ほど先生からリノベーションの話がありましたが、今ある庁舎を使っていくのか、使っていないのかということも町としてしっかり意思決定する必要があるだろうと考えます。その上で、補助金ですとか、例えば起債を起こすのであれば起債の方法、交付税措置があるものとかいろいろな起債がありますので。あと、そこに集約する機能によってはそれに関わる補助金もある可能性がありますので、機能を検討しながら同時にそこに充てる補助金があるのかなのかということも町のほうでしっかり検討していく必要があると考えています。</p>
委員長	<p>予算規模は町でしっかり検討いただきたいと思います。予算規模の裏付けのない話をここで議論してやってもしょうがないので、町で決められた予算規模に対して、ここでの議論がそれに見合うのか、見合わないのかということもサゼスションをいただきながら最終的にとりまとめていくのだらうと思いますので、町でご議論いただきたい。機能という点はいくつか大きく観点があって、1つはここで議論してこういう機能がいいねという形で付加したり削ったりしていける機能があると思うのですが、絶対必要な機能というのがあって、それは今この建物とか旧庁舎とか、あるいはひよつとしたら合併してどうのこうのという議論が前からあって、どこまでの機能として、つまり具体的には何部屋要るのかという話になりますけれども、最低限これは要るというものについてはお示しいただかないと議論ができない。その中にはひよつとしたら別の建物を使えるかもという話が去年あり、それがあから話がしにくくてしょうがない。どちらに入るのかという悩みを考えながら決めていかなければいけないということですので、9月の第2回庁内検討委員会の段階では最低限これだけの必需というか、こういう会議室とか集会所は要る、あるいは要らないということをはっきり決めていただかないと議論のしようがない。町民目線で、町民が要ると言っても何でもできるわけでもないし、全部消せるわけでもないというところですから、最低限これだけの機能は担保してもらわなければ困る。この予算の中でやってもらわないと困る。その中で自由ですというふうな形で議論させていただきたいと思います。青い部分の1、2のところではそういったところを固めていただきたいと思います。</p>
委員	<p>基本構想のときにも申し上げたと思うのですが、例えば資料4の14ページに現庁舎を中心にして公共施設の配置図がありますね。中</p>

	<p>中央公民館や現庁舎を含めての今の考えですが、例えばこの近くに福祉会館とか垂井地区まちづくりセンター、コミュニティセンターがあります。こういったものの機能をどうするのか。下の表を見ますと耐用年数と経過年数、短いものでは9年ぐらいしかございませんし、長くても14年。このような直近に迫っている課題もありますので、例えば福祉会館を今度新しくするところに統廃合するというのであれば、福祉会館の跡地をどうするのかというような非常に広範囲のいろいろな考えをしていかなないと総合的なプランというのができないと思うんです。そういう意味で、周辺の公共施設のあり方というものも踏まえた考え方をしなければいけないと思っています。同時に、垂井地区の中心でありますので、垂井地区の皆さんの利便性ということも当然考えなければいけません。例えば中央公民館の機能がすべて新庁舎へ持っていけるわけではございませんので、垂井町民全体の利便性という意味での機能というものも含めた施設を新しく作るなり、減築方式にするなり、それは別として考えていかなければいけないと思います。こういったような点を今の庁舎の中での検討会で検討されるわけでございますね。それが今度の2回目の検討委員会が終わった後、あり方検討委員会のほうに提示される、そういう理解でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>まさにおっしゃるとおりで、たしか前回のあり方検討委員会でも委員からご指摘いただいたと思っております。やはり行政機能の集約については町のほうでしっかりとこの跡地に何を持ってきたのかということを確認にお示しする必要があるだろうと考えています。先ほどの福祉会館、建物は古いです。その中に入っているのが社会福祉協議会と不破郡の医師会です。この行政サービスの機能的なものをどこにどのように持っていくのか。恐らく福祉会館でこれからも継続するという事は不可能なので、この跡地に集約する必要があるのではないかという議論になると思います。もう1つは、垂井地区まちづくりセンター。これについてもこの中に入っている商工会もそうですし、垂井地区まちづくり協議会とかセンターについてもどのようにしていくのか。やはり統廃合ということから考えると、あそこに新たに建て替えるというわけではなくて、この跡地で作られるものの中にそういう機能を集約していくということがまず基本的に考えられるのかなと思っています。ただ、ほかにも、例えば西のほうに行くと夢の屋があります。今朝もそこに行かれた方が役場の中に見えて、非常に賑わっている、色々な人と会えてす</p>

	<p>ごく楽しみにしているということを書いて帰っていかれましたが、そういう機能も必要なのではないかとということも考えますし、ここについては庁内の検討委員会の中でしっかりと公共施設の統廃合という観点から、また行政機能の集約という観点から検討していく必要があります。それについてはある程度の方向性をあり方検討委員会にお示しする必要がありますと考えておりますので、第2回目のあり方検討委員会には方向性をお示しできるようにしていきたいと思っています。</p>
副委員長	<p>公共施設に関する意見集約は町のほうで決めていただくのですが、問題は、先ほどリノベーションまちづくりという言葉が出ましたけれども、私はこの言葉をこの庁舎をリノベーションではなくて、それよりも中山道沿いの宿場町の古民家をリノベーションして、場合によってはちょっとした公共施設をそこに入れるなど、そうしてくると中山道沿いも活性化してきます。場合によっては事業を興したいという若者も出てくるとお店も増えるということで、点で捉えずに面で捉えて、当然福社会館の空き地をどうするかと。それから、長期的にわたって計画をしていかないと、またその空いたところをどうしたらいいかと考えなければいけない。庁舎が移転したら、10月からここはガラガラになりますよね。少しでもガラガラの空白を短くするために、建設も含めたら5年ぐらいかかりますよね。そうしたら、中山道沿いの町の古民家も挙げていただいて、そこで商売したいという人を募ったり、ポイントは福祉関係でみんなが集まるようなちょっとしたイベント場を作ったり、とりあえずやって、そして5年後にはこういうものができるというような、その辺の全体構想を作らないと、お金がどれぐらにかかるかわからないですが、とりあえずそういうことを、基本構想に若干フィードバックするかもわからないですが。</p>
委員	<p>ちょっとよろしいですか。今委員からありました、垂井の中山道の通りは本当にややこしいんです。それを今建っているものを、話を聞いていると町に買ってくれと言ったら、莫大な金額を言ったので町は買えないという話を僕はいろいろ聞くのですが、あそこあたりをもっと、それは委員が言われるように遅いです。10年遅いです。その前にもっと手を打つべきだったのですが、まあまあまあと来ているのが今の現状で、実際は今空き地になっているところを、例えば1個でも2個でもいいので、今だに地価は安くなってきているので、昔は30万とか言っていたけれど、今は10万足らずで</p>

	<p>もいいのであれして、ちょこっとでも1つの空間を作って、それにこういうのができるんだというのをやって、ここを壊すのに5年かかっていたら、それこそ何やかんやで10年で、10年たったら世の中はガラリと変わっていくので、とりあえず問題は今結構空いていますね。あれはみんな金持ちの地主さんで、今現段階では税金を払うのに困って見えると思うんです。実際は。僕が言うとややこしいけれども。その辺のところを1つでもいいので、こうして垂井町はやれるんだ、できるんだなというのを見せるのも1つの案ではないかと思います。これは個人的な意見です。僕は商工会とか関係なしに、商工会からも、何かいい案がないかと言ったって、僕が言ったって誰もやれるわけでもないし、それならそこで既存からやっている人によそから来たい人もおもしろいんです、話によると。各町内、例えば表佐にしても、宮代のいわゆる岩手のほうからでも垂井のまちなかに来たいなという人もいるということは聞いたのですが、そういう人にでもお願いすればやれないことはないかなと思うので、土地を1つ、4000万も5000万もかからないと僕は思う。地主さんにどれだけ話をしているかですが、そういうのを1つやってみてどうなるかとやっても悪くはないのではないかと僕は思っております。ちょっと脱線した意見ですが。</p>
<p>委員長</p>	<p>全体に議論が非常に広がっておりまして、庁舎の跡地等検討委員会という、「等」にどこまで含めるかですが、私の理解では庁舎と公民館の跡地ぐらいのところだと思います。垂井町全体の再開発となると非常に遠大なテーマになってきていろいろなことを考えなければいけません。ただ、庁舎等の2つの建物の部分のところ建て直すか何かするにしても、福祉会館と垂井地区まちづくりセンターの部分については一緒にするのかなのかというところは論点になってきて、それはこの会議で決めるというよりは、町のほうにまず基本方針を示していただきたい、そういうところかと思います。垂井の宿場の景観保全と、それからそれをどう再開発するかというのはちょっとこの議論から外れていくかなと思いますので、それは別のところかなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>予算立てのところに関連してですが、当然町はこれだけの予算を使えるとかいう数字は出されるのですが、町のお話の中にもいろいろな助成金があるので、その情報も集めたいという話がありました。ですから、助成金によってはガラッと全然金額が変わったりする可能性は十分あるわけです。ここに出した守山市の場合も、あるとき</p>

	<p>の報告の中にはわざと入れなかったのですが、守山市長は国土交通省の出身の人ですので、国土交通省のそのときできたばかりの新しい助成金を、金額は正確には忘れたのですが、1億円ぐらい。それからまちづくり何とかというのも2つ合わせて2億か3億円ぐらいの補助金をもらって建てているわけなので町の予算だけでというふうに括ってしまうとこじんまりとしたものしかできない。内容によってはいい助成金があったりするとガラッと変わるので、そこら辺の情報をどれだけうまく集めてくるかによって違うんです。情報はできるだけ集めていただきたいと思います。</p>
委員長	<p>基本は1/2助成か1/3助成、そういうところですので、少なくとも1/3負担は町がある。そこは予算規模の限界で。</p>
委員	<p>それはそうです。それと、垂井地区まちづくりセンターの1階には商工会が入っているのですが、商工会はあそこに紹介の元の理事が見えますが、僕は理事をやっていないので正確には知らないのですが、たしか建て替え積立金が6000万ぐらいある。</p>
委員	<p>いや、6000万もないです。それも昨日聞いてきたんです。前は、わしらのときは4000万ぐらいあったんです。ですが、エアコンをつけると予算を使ったりして3800万ぐらいある。</p>
委員	<p>もちろん商工会の了解が要るのですが、商工会が移転するという事になれば、そこら辺の予算もうまく使える可能性があるのでは。</p>
委員長	<p>建物は別にしないと駄目でしょうね。</p>
委員	<p>あれはまた聞いておく。予算も聞いて、耐用年数、かかっている、商工会とも。返済するまで。返済しとる。3000万全部使えるんだという、現段階で。現段階で返済して。</p>
委員	<p>まあ細かいことはいいです。</p>
委員長	<p>一応予算規模、大体の目安ですね。目安としてこうでということ、基本構想としても基本計画としても実施設計の話ではないと思うので、大体こんなところということだと思いますから、そうギチギチに決めたまとめにはならないと思います。助成金、それは使えるものは使ってという。</p>
委員	<p>私は今日初めて議題を聞かせていただいているので、基本構想部分では参加していないので発言を控えていたのですが、皆さんのお話を聞いていて私が同じ方向を向いているなということだったので、それを整理確認しながら、2、3確認したいことがあります。まず1つ、今回の話題としては、公共施設の箱物、あるいは建物を30%減らさなければいけないということがわかっていて、30%減らす</p>

中に恐らく今の公民館が入っていると思うのですが、30%減らさなければいけない箱物の話と、だけど残したい機能の話があって、私は公共施設の再配置計画でいくつかの市町と関わっているのですが、そのときにいつも言っているのは、箱物をどうするのかという話と機能は別々に考えなければいけない。残される箱にどの機能をもう一遍持ってくるのかという話があるので、まずそれを2つ分ける。箱物をどうするかと言ったら、先ほどお話があったように、周りにたくさん公共施設があるから、この機能をこちらに持ってこよう、これはやめるからという話があるので、その辺をまず整理して出していただきたいというのがあります。これは削減しなければいけない30%に入っているから、この機能は必ずどこかに持っていかなければいけないという話がアクションプランから出てくるというのをまずきちんとして、その中からあぶれ出してくる機能を持っていける場所を明確にさせていただかないとこちらで多分判断ができないと思います。もう1つは、機能の話としては、30%から出てくるものと、それから庁舎に入らなかったものの機能がありますよね。その2つと、プラスあまり出てこなかったのは、5ページにある基本構想で挙げている現庁舎敷地等、この「等」は先ほど委員長がおっしゃったようにどこまで含めるのかという話ですが、活用方針の検討で6点あるのですが、当然これは引き継いでいくものだと思うんです。だから、この機能をどうするのかという話で機能は今の3点セットかなと思うのがあります。そのときに、一番下に「空き家等を活用した賑わい創出施設の確保」となっています。私はこの「等」の中にそういうものも入っているのではないかなと想像して読ませていただいたので、そうするとさっきから議論になっている垂井地区のまちづくり、中山道沿道、実はこれは副町長さんが冒頭の挨拶をされたときに垂井地区で今まちづくりが始まっているという話をされたので、このまちづくりの話と検討委員会の話は並行して走っているので、お互いがリンクしていかないとまずいのではないか。役場跡地の周辺、こんな土地がこんな場所でパッと出るなんて夢みたいな話なんです。ほかの自治体にしてみたら、こんないいチャンスを使わないはずはない。さっき郡上がいい例で出ていましたが、郡上駅は町並みからものすごく外れているんです。よっぽどこっちのほうが幸せで、私から見たらもったいなさすぎ、資源ありすぎという感じで、私から見るとまだ生かせる要素がたくさんあるんです。それを生かせるチャンスだから、ぜひそれをまちづくり

	<p>の中でやられたほうが、当然並行して走っているので、リンクしなければいけないという話があります。ほかの計画の話というと、例えば都市マスも平成18年なので当然改定が来ますよね。先ほど庁舎が外に出たので核が2つになってしまったという話で、今の都市マスでは核1個なんです。恐らく庁舎か出てしまったので、庁舎の核と垂井地区の核と、観光とかそういう古いまち並みという核と、庁舎の核という2つになるかもしれないので、都市マスを書き直すかもしれないですね。あと、垂井のまちづくりが始まったら、そういうのを都市マスに書き出します。もっと言うと、お金をつけたいのであれば、例えば道再生事業などいろいろ国交省が出している補助金、旧まち交とかありますけれども、当然都市マスに書いていなければいけないので、そこに書き込むとすれば、都市マスも見込んでここでプランを立てておかないと最後お金がついてこない。実は庁舎の跡地活用なんですけど、都市マスだったり公共施設の再配置だったり、垂井地区のまちづくりだったり、いろいろなことが全部関わってくるので厄介なのですが、そういう中で整理される中でこうなりましたと。先ほど言った6つの町の構想から引き継いで出てきたこういう用途を入れたいという町民の方々のご意見、そういうのを踏まえた上で整理して、こういう案になりましたというふうに提案いただかないと、これがいいとか悪いという判断が私はしばらくいかなと思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>前段の話はよくわかったのですが、後段の、いわゆる垂井地区の話は確かにここに6点あり、最後は空き家等を活用した賑わいを創出してと書いてあるのですが、これはよくある一応書いておくかという部分があつて、ここにこの会議で本気で取り組むという気持ちは多分なかったような気がしないでもないというところで、一応考えているものはあると。多分それは線でも考えていなくて、1件ぐらいの話かなという感じなんです。それを具体化してあるけれど、面はもちろん、線でもなかなか、要するに財政的に難しいという中では、建物1つ、これぐらいは何とかするかみたいな、そういうイメージなのかなと。僕のイメージはそれぐらいのところにいたので、本気になってこれに全部取り組んだら、それはすごいお金がかかる話なのだろうなと思います。ただ、色々な声を出していただいてもいいのですが、この会議として最終的にせねばならない事としては、この建物と旧庁舎のところの敷地のところをどうするかということと、あとはイベントというのは祭りとかもあるし、この部分という</p>

	<p>ことで、下2つというのは、下3つもそうですが、防災というのは結構声が強かったんです。ワークショップの中では防災面の声がすごくあった。それから、イベントという部分では、集客云々というのは観光という話もあるし、祭りというところもある。それからもちろん空き家というところもあってというところで、これは本気で取り組んで全部をやりますという、これはまたちょっと違う仕立ての話になってしまいますから、跡地利用というものを超えて。確かに跡地利用が1つの核にはなるのですが、跡地利用という枠を超えた町全体の話になってしまって、それをこの会議でやりますかというところなんだろうと思います。ある程度そこはそういう課題があるということを見ながら、どちらかというところに集中してほしいかなというのが委員長を仰せつかっている者のお願いです。あまり拡散いただくと。</p>
事務局	<p>先ほどの委員のご指摘は非常に大事な部分だと私も思っております。これは先ほど委員長がおっしゃるとおり、あり方検討委員会で検討しようとする大変幅広い話になりますので、この部分は行政、町が10年先、20年先、30年先のまちづくりをどのようにビジョンを描いていくのかというところで非常に大事な視点だと思っております。やはり中山道の空き家対策というのは当然出てきますし、中山道の活性化というのは当然町として考えていかなければいけない部分だと考えていますので、町として今後垂井地区、駅を中心としたまちづくりということのビジョンを考えながら、今委員からご指摘いただいたようなことをしっかりとマスタープラン、私は担当ではありませんが、都市マスとかそういう部分にしっかりと入っていくということも大事なかなと考えております。空き家につきましても、ここで具体的な検討をするということではないかもしれませんが、町としてはしっかりと議論していく必要があるだろうと思っております。先ほどご指摘があった地主さんの話も事務局的にはいろいろと話をしております。実はこの跡地の活用について、28年度からがやがや会議をスタートしたのですが、宿泊でやったのですが、その3回ぐらいは実は中山道の長浜屋さんを借りて会議を開催したんですね。中央公民館はこういう会議ができるような施設がありますが、跡地にそういうものを持つのか、いやいやそういうところにも会議ができるような機能が今でもあるんですよ。そういうことも使いながら検討していく必要があるだろうと考えておりますので、ここの部分についてもまちづくり全体を捉えて庁内の検</p>

	<p>討委員会でしっかり議論していきたいと考えています。ただ、あり方検討委員会に出させていただくのは、跡地の活用ということではないかなと。</p>
委員長	<p>中山道と垂井宿そのものの話をこの委員会で併せてというのはいかにも荷が重い気がします。この委員会としては跡地利用であって、今会議の会議室、そういう話をし始めるとまたわけわからなくなるので、どれだけの会議室、大体平日で何室分ぐらいのキャパが必要なのかとか、そういう形を出していただかないと、いや垂井宿のこの空き家とこの空き家を使ったらこういうふうに会議室ができますよという話をしてしまうと混乱するかなと思います。キャパ感を出して、それをどうやって作っていったらいいのかというところの議論に集中させていただいたほうがいいと思います。もちろん全体の賑わいのこととか、あるいは町全体から見て垂井エリア、今までは庁舎があったから人が寄っていた部分を、それがなくなったらどうなるんだという話。それから町外からここに来る人を作っていくという意味でのこのエリアの役割というのは当然あって、それは意識しなければいけないことですが、このあり方委員会のメインのテーマは恐らく庁舎だったり会議室だったり、そういったものの集約、ですから、どちらかというところ公共施設の統廃合の議論に近いところに中心がある。そういう話がメインなのではないかと理解しております。地域の賑わい創出の話というのは別の仕立てで、総務課さんではなくて商工観光課とか、そういうところが担当課でやるような、そういう会議の場面のほうが馴染むのではないかと思います。</p>
委員	<p>委員長の言われるとおりで結構なのですが、ちょっと宣伝させてもらおうと、今日見ていて気がついたのですが、33ページの活動報告と垂井宿戦略計画書、これは平成24年に、これは私が作ったんです。だからよく覚えているのですが、歴まち法でここら辺をうまく使えないかといういろいろ考えて作りましたので、もし何か興味があったらこちらのほうでまた。今私、ここら辺のことは休憩していますので、開店休業したままなので、またどこかで頑張りたいと思いますので、そのときはまたお世話になると思います。すみません、宣伝です。</p>
委員長	<p>そういう視点でやっていかないと、庁舎移転に関わっての話、意識しつつ、でも今回のメインターゲットとしては置きませんよという、そういう位置づけなのだろうと思いますので、そういうご理解でお</p>

	<p>願いたいと思います。皆さんご発言いただいておりますが、ほかによろしいでしょうか。スケジュールもお話をいただきましたので、その他でよろしいですか。その他は次回の日程ですが、委員の皆さんからはその他は特にございませんか。</p>
委員	<p>39ページの図表、再編方向タイプの区分手順は小さすぎて読めないです。原寸のものがあれば。</p>
事務局	<p>これは公共施設のアクションプランのときに検討したフロー図になっております。ホームページにも出ております。また大きく引き伸ばさせていただきます。</p>
委員	<p>新庁舎のあれとは違うの？</p>
事務局	<p>現在公共施設全部についての管理計画を合わせて策定中でございまして、そちらのほうの業務で使った資料で、細かくなっています。</p>
委員長	<p>そのあたりについては個別にご相談ください。</p>
	<p>－次回の会議日程調整－</p>
委員長	<p>では、会議としては以上ということで、ありがとうございました。</p>
事務局	<p>本日は皆様長時間にわたりまして貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。以上をもちまして令和元年度第1回垂井町庁舎跡地等活用のあり方検討委員会を終了いたします。どうもありがとうございました。</p>